

科目名	社会福祉				担当	市東 賢二		
形態	講義	単位数	2	開講時期	1年前期	実務経験	—	
必修	保育士：必修				ナンバリング	Y1104	DPとの関連	2
授業概要	この講義では、社会福祉学の基礎的な概念や、人間に対する援助について原理的に学ぶ。その上で、①社会福祉の意義や歴史の変遷、社会福祉における子ども家庭支援の視点を学ぶとともに、②社会福祉制度の実施体系等について学ぶ。さらに③社会福祉における相談援助や④利用者の保護に関わる仕組みについて学び、福祉先進国の取り組みなどの⑤諸外国の動向について学ぶ。							
到達目標 学習成果	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会における社会福祉の意義と歴史の変遷及び社会福祉における子ども家庭支援の視点について理解する ・社会福祉の制度や実施体系等について理解する ・社会福祉における相談援助について理解する ・社会福祉における利用者の保護に関わる仕組みについて理解する ・社会福祉の動向と課題について理解する 							
授業計画	回	内容						
	1	現代社会における社会福祉の意義と歴史の変遷①	社会福祉の理念と概念について学ぶ					
	2	現代社会における社会福祉の意義と歴史の変遷②	社会福祉の歴史の変遷について学ぶ					
	3	現代社会における社会福祉の意義と歴史の変遷③	子ども家庭支援と社会福祉のかかわりについて学ぶ					
	4	社会福祉の制度と実施体系①	社会福祉の制度・法体系と行財政及び実施機関について学ぶ					
	5	社会福祉の制度と実施体系②	社会福祉施設と専門職の役割や機能について学ぶ					
	6	社会福祉の制度と実施体系③	社会保障及び関連制度の概要について学ぶ					
	7	社会福祉における相談援助①	相談援助の理論について学ぶ					
	8	社会福祉における相談援助②	相談援助の意義と機能について学ぶ					
	9	社会福祉における相談援助③	相談援助の対象と過程について学ぶ					
	10	社会福祉における相談援助④	相談援助の方法と技術について学ぶ(グループワーク)					
	11	社会福祉における利用者の保護に関わる仕組み①	社会福祉における情報提供と第三者評価について学ぶ					
	12	社会福祉における利用者の保護に関わる仕組み②	利用者の権利擁護と苦情解決について学ぶ(グループワーク)					
	13	社会福祉の動向と課題①	少子高齢化社会における子育て支援について学ぶ					
	14	社会福祉の動向と課題②	共生社会の実現と在宅福祉・地域福祉の推進について学ぶ					
	15	諸外国の動向	諸外国の動向について学ぶ					
評価基準	到達目標の5つの点について理解し、説明できることが「可」の条件である							
評価方法	レポート 80% その他 20% (授業内で指示する課題の内容を評価)							
フィードバック 方法	授業中の課題は、採点后返却し、講評する							
アクティブ ラーニング	グループワーク							
教科書	『保育士のための社会福祉』相澤譲治編/株みらい 『保育福祉小六法』株みらい							
参考書	『What's social case work?』Richmond,M.E. 小松源助訳 中央法規 1991 『福祉の思想』糸賀一雄 NHKブックス 1968							
履修条件	本講義を受講するにあたって必要となる基礎知識を有すること							
授業外学習	事前学習：授業計画で示された事項について、日常的に好奇心をもち、読書（教科書関連箇所含む）や友人との討議の機会をつくり思考を深めること 事後学習：授業で扱われた事項に関する学びと自己の課題を考察すること							
オフィスアワー	3階第9研究室 citeaux@uedawjc.ac.jp							